

清涼

あしりべつ

発
行

清田地区町内会連合会
 〒004-0841
 清田区清田1条2丁目
 TEL 883-7600
 FAX 883-8057
 発行責任者 牧野 晃



新緑の清田緑地 (清田1条3丁目)



緑地内に群生するニリンソウ

四季折々の表情を見せる
 清田緑地
 真夏の太陽が樹木にさえ
 ざられ、さわやかな涼し
 さを演出する緑の回廊
 静寂な散策路に聞こえる
 小鳥の声が訪れる人々の
 心を癒す
 緑にあふれる回廊には森
 林浴やウォーキングなど
 を楽しむ人達
 芝生公園では元気に遊ぶ
 子どもたちや家族づれの
 姿が見られる

新会長で 十九年度スタート

清田地区町内会連合会の「平成十九年度定時総会」が四月二十一日(土)午前九時から清田区民センターで開催され議案通り承認されました。

今年度は役員の変更期に当たっており、永年、町連をリードされて来ましたが伊藤義雄会長が退任、代わって牧野晃前副会長が新しく会長に就任しました。



退任の挨拶

長い間
有り難うございました



伊藤 義雄

紙会長のあとを引き継いで、五年間

会長をつとめさせて頂きました。

色々なことがございましたが、役員をはじめ沢山の方々に助けられ、何とか任期を全うすることができました。

会長の任期の後半は、体調不十分で会員の皆様にはご迷惑をおかけしました。そんな私を助けて任期を全うさせて頂きました皆様から厚く御礼申し上げます。

町内会活動も、住民の高齢化、子どもの減少などにもない今までに考えられなかったことなどが出てきました。難しい時期になってまいりました。単町会長七年、連合町内会会長五年、その間にあったことを振り返り、今後の問題を考える一助になったら幸いです。思い出話として気楽にお読みください。

地下鉄誘致、警察署設置等、できない問題(交番設置はできました)が沢山ありますが、どんな情勢にも対応できるように我慢強く、粘り強く運動を続けなければなりません。

緑を汚す産業廃棄物処理場建設の問題が出てきました。(公清企業提案)

始めの頃は本質からはずれた意見ばかり、しかし皆熱心でした。参加者がだんだん増えて行き、問題の本質も見え、紆余曲折はありましたが、最終的には、平成十七年十二月二十一日公清企業が申請を取り下げました。処理場は作らない!!

七年近い交渉の結果でした。



(産業廃棄物処理場予定地で土砂崩れこれは神の成せる技だ)

天の声素直に聞いて中止せよ
会長吹き我も思わず

(前田処理場見学 平成十一年五月)

産廃の清田にかけししがらみは
売れぬ野菜と飲めぬ地下水

(区長懇談会)

有明けにかけたる企業のしがらみは
流れて困る産廃の水

産業廃棄物処理場は、連合町内会

長時代の一番忘れることのできない問題でした。本当に多くの人に助けられ勉強させて頂きました。紙会長さん、故人になられた藤田副会長さん、資料を集めてくれた西部会長さん、三谷さん、助言を頂いた奈良さん、隈野さん、大橋さん、その外沢山の方々に助けて頂きました。本当に有り難うございました。

舵取りの難しい町内会活動の時期を迎え大変だとは思いますが、牧野会長をもちたて、ご健康に留意されご活躍をされますよう心から祈念致しまして、拙い文ですが退任のご挨拶と致します。

新会長挨拶

「まちづくり」と町連の役割



清田地区町内会連合会
会長 牧野 晃

この度、伊藤義雄前会長のご勇退をうけ、会長に就任することになりました。

昨年以來、前会長の体調不良により、会長代理を一時務めたこともありましたが、就任三カ月が過ぎた現在、桁違



いにその責任の重さ、役割の重大さを痛感しているところです。

伊藤前会長には、五年の間、地域のためにご尽力頂きました。心より感謝を申し上げます。

さて、私達のこの清田地区町連は、平成九年に里美地区が分離独立して以来、十一町内会となりましたが、清田の本来として先輩の方々の築いてきた功績を受け継ぎ、「まちづくり」に努力してまいりました。

しかし、最近「町連とは何か、何を

する組織なのか」と云う疑問の声を耳にするようになりました。それは、町連がどんな組織で、何を目指しているのかと云う説明が不十分であったことに起因していると反省しているところです。

そこで、紙面をお借りし町連の存在意義と目標は何かと云う疑問について述べたいと思います。ご理解の上、ご支援をお願いする次第です。

先ず「町連の目的とは何か」、町連会則を要約すれば、町連は、各町内会に共通する問題を皆で話し合い、解決に向けて努力し、地域に住む誰もが安全で住みよい街づくりを目指す組織である。と明快に述べております。

次に具体的に「何を指すのか」ですが、これ迄、明確な提案がなかった点を反省して、私は、当面「安全で住みよい街づくり」のため清田地区全体に共通する課題として、次の目標を上げたいと思います。清田地区に住む皆さん方のご賛同を頂き、町内会を中心に力を合わせ活動に参加をお願いするものです。

「活動の目標は」

一、人に優しいまちづくりをしましょう。

・ 少子高齢社会の大きな課題です。

一人暮らし等のお年寄り、子育て中の方々を支援する活動を。

二、安全で安心して生活できる地域づくりをしましょう。

・ 子ども達を危険から守る活動の継続を。

・ 交通安全の啓発活動参加と実践を。
・ 他町連と協力して清田警察署の設置運動の継続。

三、地域の美しい環境を守りましょう。

・ ゴミの不法投棄を許さない取り組みを。

・ ポイ捨てのない清潔な街の維持を。
四、地下鉄東豊線の清田区役所までの延長運動の継続。等です。

最後に、住みよい街づくりは、地域に住む私達自らが活動しなければ達成出来ません。

これまでの経験を生かしつつ、以上の課題の解決に一步でも近づけるよう、地域の方々と一緒に取組んで参りたいと存じます。

皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



児童会館紹介

清田児童会館

館長 濱之上 由紀子

〒004-0841
札幌市清田区清田1条4丁目3-53
電話 011-882-2960
http://www.katsudokyokai.or.jp

暴れし子のボタンをかけて
尖りたる心を覗く
若き指導員は

初夏の透明感にあふれ、暖かく耀う陽光を浴びながら、清田小学校に隣接している清田児童会館を訪問しました。現在、区内には児童会館が九館あり、中でも清田児童会館（以下、会館という）は最も歴史が古く、今年で三十周年を迎えるそうです。

早速、遊んでいる子どもたちに、いくつか質問してみました。

Q 「会館に来てよかったことは？」

A 「体育室が広くて、いっぱい遊べる」「どんな遊びが好き？」

A 「復活ボンバー（ボール当ての一種）」「おにぎり」「コマ」「百人一首」「ぬり絵」「お店屋さんごっこ」

Q 「何か困っていることは？」

A 「ぬり絵の種類を増やして」、「壊れているので新しい鉛筆削りが欲しい」、「もっと遊び時間が長ければよい」、「上の学年の子と遊びたいけど、うまくいかない」

Q 「どんな会館になってほしい？」

A 「公園の中に会館があるといい」

など、明るく元気で素直な声が返ってきました。

児童会館の設置目的は、「校外生活において、異なつた年齢集団での遊びを通して、地域における児童の交流をより一層深める」ことにあります。濱之上館長に、会館の運営方針などについて伺ってみました。

「学校・家庭・地域の連携をさらに深めたい。地域の中の会館の役割を意識し、積極的に地域の人材開発を行い、子どもと地域の方々の交流を押し進めていきたい。子どもたちはこんなにがんばっている、地域にどんどん出ていって、活動できる場を与えてあげたい。子どもと向き合い、子どもに目を向けてもらうためにも会館の存在を是非知ってもらいたい」。館長は子どもたちの動きに温かい眼差しを向けながら、熱い思いを語ってくれました。

現在行われている交流の場として、清田小学校の授業参観や、ボランティアによる折り紙教室、絵本の読み聞かせ、町内会の「清田ライラックの会」(三世交代)による伝承遊び塾などがあるそうです。

会館の大きな特色として、子どもの自主的な参画による「キヨリン会議」を挙げることができます。いわば、子どもたちによる子どもたちのための手作りの会なのです。スタッフは、みんなと仲良く、みんなと力を合わせてがんばりたい、という共通の願いをもって、月一回の会議に臨んでいます。今年度は会館が三十周年を迎えるので、記念行事(十一月十七日から一週間)に向けて英知の瞳を輝かせているようです。すでに、会館の愛称の公募、児童目標をポスターにして掲示することなどが話し合われているようです。担当の指導員は、「子どもが好きで、この仕事を選んだ、失敗しながら自分たち



児童会館の運営

利用対象： 幼児(保護者同伴)から高校生まで
 利用時間： 午前8時45分～午後6時(午後6時～9時までは登録団体の施設利用あり。全市20館で「中高生の居場所づくり」事業として週2回夜間利用が始まった)
 休館日： 日曜・祝日・振替・年末年始
 利用形態： 児童クラブと直接来館、及び自由来館
 ※児童クラブ…お勤めなどのために放課後、保護者が家庭にいない小学校低学年児童(1年生～3年生)の安全を確保し、健全に育成することを目的とする。入会制で無料。
 施設： 事務室・クラブ室・プレイルーム
 図書室・体育室
 職員数： 4名(館長・指導員3)



で問題解決ができる子どもを育てたい、居場所がない子どもの問題、家庭の問題などが複雑化してきた、指導員や予算がもっと増えればよいが…」と切実な思いを語ってくれました。

最後に、濱之上館長に今後の課題についてお尋ねしました。

「子育てサロンの実施、中高生の夜間利用、傷害をもつた子どもたちの受

入れと対応など、事業は拡大していくが、指導員や予算は削減されているのが厳しい。子どもや家庭の問題が多様化・複雑化しているので、教育相談の充実を図ること、安全指導の徹底を図ること、親学・親育ちを意識した取り組み、保護者と地域、関係機関との連携」などを挙げられました。

児童会館は、社会的・教育的な問題に直面し、実に大きな存在であることであらためて認識しました。地域と地域住民の教育力を引き出すことが最も重要で、それを財政的に支援する仕組みづくりが問われているのではないかと、そんなことを考えながら会館を後にしました。

(清水 芳洞)



シニアスクール 生涯学習の すすめ

寺子屋ボランティア

校で実施されており、区のみならず、三里塚小学校でも実施されています。区のまちづくり目標の一つである「豊かな心と文化を育むまち（生涯学習の場づくり）」の実現。高齢者の健康増進、児童の基本的なマナーや学習態度の向上及び促進、地域における子どもたちの安全確保と学校施設の有効活用等を図るなかで、「地域」と「学校」と「行政」の連携による世代を超えた新たな地域のまちづくりを目指し昨年より実施されました。

札幌市で、はじめて取り組まれたこの事業は、十七年五月の岡山市におけるシニアスクールに関する新聞報道をきっかけとして、地区懇談会での要望や区民からの問い合わせに清田区が迅速に対応し、十八年八月二十一日から十九年三月二十三日までの期間、週一回、水曜日午前に実施。二十名の区民が国語、社会、理科、音楽、美術、保健・体育、技術・家庭、総合の八科目の講座（授業料は月額二千円で、その

地域の高齢者と小学校児童の「世代間交流」を図るため、六十五才以上の区民を対象とした清田区民シニアスクール事業が市立三里塚小学校で実施されています。区のみならず、三里塚小学校でも実施されています。区のまちづくり目標の一つである「豊かな心と文化を育むまち（生涯学習の場づくり）」の実現。高齢者の健康増進、児童の基本的なマナーや学習態度の向上及び促進、地域における子どもたちの安全確保と学校施設の有効活用等を図るなかで、「地域」と「学校」と「行政」の連携による世代を超えた新たな地域のまちづくりを目指し昨年より実施されました。

他に教材実習費、傷害保険の負担有）を受講されました。参加者は、開校日の登校時、中休みの児童との交流のほか、総合学習での高学年生との意見交換、学校行事への参加による学校生活という適度な緊張感を健康維持・回復に役立てているようです。また、児童達も高齢者との触れ合い、会話によって雰囲気や和らぎ、あいさつなどの礼儀や授業に向かう真摯な姿勢など、基本的なマナーや学習態度、コミュニケーション能力の学び、地域の人に見守られているという意識が生まれるなど効果は大きいようです。



今年度は、参加者の三階会議室への昇降や児童との触れ合いによる体力的負担増、団塊世代退職に伴う受け皿確保などの理由により、対象年齢を六十才に引き下げ、二十二名の区民が五

月より三里塚小で受講しております。この取り組みが清田地区にも拡大、充実していくことが望まれます。（区では将来二校実施にむけて検討中）

シニアスクールの開校に続いて、区民が創り、区民が教え、区民が学ぶ地域教養講座として清田区民寺子屋ボランティア事業が今年度から始まりました。この事業は、地域住民ボランティアの手による「学びの場の創造」の支援。地域に潜在する人材の掘り起こし、活躍の場の提供など、区民の向学心の充足を図る。地域の生涯学習力を高めるための総合的な取り組みです。昨年



十一月に興味や仕事で培った知識や技術を生かすことも狙いで講師を募集したところ三十六名の申し込みがあり、現在三十一名の方が登録されており、（同様の取り組みは他区でも行われているが、勉強会の開催や派遣先の用意などを一体化させた事業は清田区が初めて、シニアスクール講師の方も多数登録）

シニアスクールの見学、寺子屋ボランティアの申し込み、講座内容の確認などに関するお問い合わせは清田区市民部地域振興課地域活動担当係 電話八八九二四〇〇（内二五〇）にお寄せください。

（長屋 俊二）

①教養（書道、英会話、自然案内、親と子どものしつけなど）十四講座、②趣味（陶芸、絵手紙、着付教室、短歌入門など）十七講座、③健康（ダイエット、キッズダンスなど）の五講座が用意されており、派遣先は三名より十名程度のサークル、町内会、老人クラブとなっており、会場費・交通費（二千円）が申し込みサークルの負担となりますが、ぜひ一度町内のサークル等で活用してみたいかがですか？

歴史、園芸などの特別講座も区民センターで開催されています。

この講座は地域の総合的な生涯学習力を高めることを目的として、区の企画により作られました。住民自らが企画・運営に参加することにより、まちづくりの主役として明るく楽しい活力に満ちた町内会づくりにも大きな力となるものと期待されます。

シニアスクール、寺子屋ボランティアについて地域振興課の山村さんに話を伺いました。住民一人ひとりが積極的に生涯学習に取り組み、新たなまちづくりの主役として活躍することをしっかりと支援する清田区の姿勢が頼もしく感じられた取材となりました。

施設の訪問で喜ばれる ポランティアの 大正琴グループ

会場に足を踏み入れると、柔らかなリズム、快いメロディーが身体全体に降り注いで来ました。

舞台には女性ばかりの奏者が並び、生き生きと弦を弾いており、弦の音がエレキを通して聴衆を魅了しています。曲目はクラシック、民謡、フォークソング、歌謡曲、童謡、その他、リクエストにも答え会場を盛り上げています。

メンバーは主婦が中心、失礼だが決して若くはない、しかし会場を包む曲は元氣と若さがいっぱい。

演奏曲目が変わって軽快なメロディーが流れ、身体でリズムをとる人も見えます。

演奏しているのは「北翔会」、

真栄団地町内会在住の鳥居恵美子さんが率いるグループです。

楽器はソプラノ、テナー、アルト、バスで構成しており弦から作り出される



小グループの演奏会 6月白石区



小グループの演奏会 9月清田区

音はエレキギターをソフトにした様な音色、そのハーモニーは心を柔らかく包みます。

「琴」と云えば「純粋な日本音楽」というイメージですが、演奏を聴く限り「大正琴」の幅の広さには「古風」の文字は似合わない感じです。

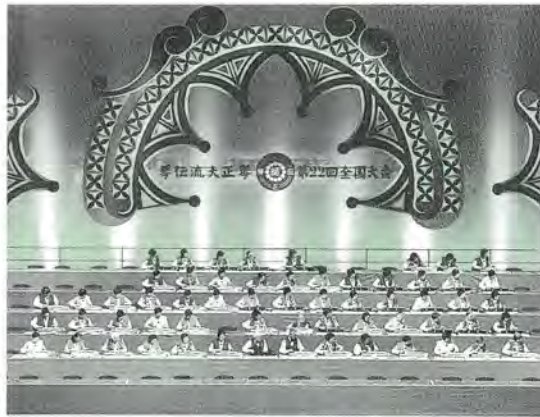
鳥居代表によるとメンバーは清田区(真栄団地町内会含む)を中心に市内各区に広がっており、それぞれの小グループで福祉施設などに赴き、ポランティア演奏をしていると云う事です。真栄団地町内会でもミニ文化祭に出演、会場から喝采をあげました。

その実力は素晴らしく、町内会から

は演奏技量が年々上達しているとお墨付きを得ている程です。舞台での演奏を視聴していますと「北翔会」の文字通り、(北)北の大

地を持ち前の根性で(翔)飛びめぐり多くの人達に明るさと、楽しい音色を贈る集団と感じました。

現在は年一回の全国大会出場その他、札幌市中央区の「かでる2・7」で定期演奏会を開催していますが、お呼びがあれば、日時の調整次第、何処にでも出かけて行く気軽さをもっており、その演奏レベルは高く評価されているという事です。



全国大会 4月神戸

殆どのメンバーが音質の異なるソプラノからバスまでをマスターしており、その日の構成によって機種を使い分けているという「大正琴」にはまってしまった人達です。とにかく「大正琴」にかける情熱、迫力は素晴らしいの一言に尽きます。最年長の金堀場ノブ(九十)さんは

「二週間に一度の練習が、笑いの場所で楽しい」と目を輝かせ話してくれました。



小グループの練習風景

な拍手が会場にあふれました。

代表の鳥居さんは「上手に弾くより和と楽しさが大切、今日よりも素晴らしい明日が来るよう、仲間と共に、より一層豊かな心を養って行きたい」と話していました。



小グループの練習風景

■連絡

鳥居恵美子 電話八八一―三七七五 (小山田 義信)

町連各部の便

防犯 パトロールで 感激した事



・ 防災・防犯部 ・

パトロールの方々はどなたも、子供たちから元気な声で「おはよう・さようなら」の言葉が一番うれいと言っています。中には顔なじみになり話しかけてくるお子さんも見かけます。小林のお祖母ちゃんはいつも愛犬ミミーを乳母車に乗せて子供たちと会話をしながら歩いています。子供たちとの触れ合いが何よりも心が和み長生きにつながるかと話されていました。

中学生になると急に態度が変わってくるのも不思議な事ですね。こちらから努めて声を掛けるようにしています。が、無視されるのが悲しいです。(そんな子は僅かです) なかには、沼田君

(中学一年)の仲間の様に何時も大きな声で元気な挨拶をしていく子どもも居ります。とてもさわやかで、何時までも続けて欲しいと願っています。

真栄団地町内会の主藤さんのお話ですが、真栄中学校前交差点で登校時交通指導をしながらボランティア活動をしています。真栄小学校の卒業式の当日、二人の女の子さんが主藤さんのところに駆け寄り、「何時も守ってくれて有難う。お陰で卒業できました」と言って卒業証書を見せてくれたそうです。孫のような可愛い子からの感謝の言葉は生涯忘れませんとのことでした。

また登下校時の見守り以外に普段子供たちと接触を持っている小井商店の



ストップ・ザ・交通事故死 ～めざせ安全で安心な車社会～

・ 交通安全対策部 ・

お祖母ちゃんのお話ですが、さくら公園に遊びに来る子供たちの中でK子ちゃんは、少々乱暴で器物を壊したり、やんちゃな遊びを年少者の子供に教えたり、手に負えない子だったようです。が、お祖母ちゃんの時間を掛けた話し合いが実を結び、素直な女の子に変わり今年無事真栄中学校を卒業し定時制

高校に入学したそうです。その子がお祖母ちゃんに「今年の盆踊りの出店ではお祖母ちゃんの手伝いをするから」と言ってくれたのがとても嬉しかったとのこと。地域で子供を育む事の大切さを知らされた一例です。

(宮下 隆敏)

五月連休明けで安全運転が散漫になるこの時期に、北区において三人の小学生がダンブカーにはねられ重軽傷を負う事故があり、また豊平区において下校途中の小学生の男児がトラックにひかれ亡くなるという、あつてはならない大変痛ましい事故が立て続けに発生しております。町内会の皆様におかれま



しては、日頃から子どもたちの事故防止や安全確保に努めているとは思いますが、未来ある子どもたちはもちろん、尊い市民の生命を奪う悲惨な交通事故を二度と起こさないよう更なる防止に努め、安心と安全のまちづくりを進めましょう。

(林 義隆)

祝 真栄町内会創立三十周年

昭和三十年代から宅地開発が進み、世帯数も増え、真栄町内会は発展しました。

昭和五十二年に真栄町内会が四町内会（真栄第一、二、三、四）に分かれてから今年で三十年にあたり、先陣をきって第一町内会が四月十八日真栄地区会館で関係者多数の出席により「真栄第一町内会創立三十周年記念行事」を開催しました。

真栄第一町内会は、九十三世帯で発足しました。昭和五十六年に二百世帯を超え、平成七年に四百八十世帯へと



飛躍的に発展を遂げたのです。

創立二十周年記念行事を行った平成九年は、豊平区が分区分し清田区が誕生して新しい清田区役所が完成、名実共に真栄地区は清田区の中心の拠点へと発展してきました。

記念行事は町内会発展に尽力された方々への感謝状、記念品の贈呈、引き続き懇親会を行い清田地区有志が結成した清田緑風太鼓の演奏、町内会女性

部の清田音頭などアトラクションで盛り上がり、盛会な記念行事でした。
藤本石雄会長は、「この度の創立三十周年記念行事を機に、更なる発展へ

の第一歩を歩み出す決意をした次第です」と、力強い決意を述べて終了しました。
(池田 敏夫)

清田区誕生10周年

平成九年十一月に清田区が誕生してから、今年で十周年を迎えます。

区では、誕生十周年の節目を生かし、「十年を振り返り、明日の清田を考える」をテーマに、地域関係団体と区で構成する「十周年事業実行委員会」を組織し、地域の皆さんの意見を取り入れながら、記念行事やイベントの企画、実施に当たるなど、区民と区役所との協働による十周年

事業への取組みを進めていきます。

また、清田区のまちづくりについても、十周年を契機として、これまでの十年のまちづくりを検証するとともに、フォーラムの開催などにより、区民との情報共有を図りながら、区民と区

役所が一緒になって、これからのまちづくりを考えていきます。

具体的な事業としては、記念式典、フォーラムの開催、記念誌の発行。既存の季節イベント、スポーツ大会、文化的な催し物などの事業については、十周年を機にパワーアップして実施するものを「十周年事業」と位置づけ、より多くの区民の方に参加していただくことで、地域のまちづくりに積極的に関わる機会の拡大につなげていきたいと考えています。

清田区誕生



明日への贈り物

清田地区町内会連合会主要事業

月	事業名・内容
平成19年4月	・定例総会(総務部)
5月	・春の交通安全街頭啓発(交通安全対策部)
6月	・地区懇談会(総務部) ・パークゴルフ大会(体育部) ・役員1日研修(総務部) ・1日見学研修(女性部)
7月	・連合会だより発行(広報部) ・夏の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・防災防犯講習会(防災・防犯部) ・歩く運動(体育部)
8月	・不法投棄対策事業(保健衛生部) ・青少年を見守る店巡回(青少年育成部) ・地区対抗壮年野球大会(体育部) ・清田区防災訓練参加(防災・防犯部)
9月	・秋の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・見学研修(保健衛生部)
10月	・共同募金活動(福祉厚生部) ・市民見学会(女性部)
11月	・秋の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・大縄跳び大会(青少年育成部) ・ミニバレーボール大会(体育部)
12月	・連合会だより発行(広報部) ・防犯パトロール(防災・防犯部) ・1円玉募金(女性部)
平成20年1月	・新年交礼会(総務部)
2月	・玉入れ大会(体育部)

清田地区福祉のまち推進センター主要事業

月	事業名・内容
平成19年5月	・定期総会
7月	・ふれあいバス見学旅行(一人暮らしのお年寄りをご招待、近郊の施設を見学) ・こがもちゃんバス遠足(子育て中の親子を応援)
9月	・こがもちゃんミニオリンピック大会(就学前のお子さんと親を対象にした運動会)
10月	・福まち講演会(高齢者の健康づくりをテーマに)
11月	・友愛訪問(一人暮らしのお年寄りに手作りお弁当をお届けします)
12月	・福まち「お楽しみ会」(お年寄りと「こがもちゃん」との3世代交流)
平成20年3月	・ほほえみ交流会(一人暮らしのお年寄りを対象にお食事とゲームで交流)



◁役員1日研修(白旗山)

▷歩く運動



◁不法投棄対策事業

▷交通安全街頭啓発



◁清田地区新年交礼会

▷福まち「ふれあいバス見学旅行(富良野)」



◁「こがもちゃん」バス遠足(川下公園)



◁福まち「お楽しみ会」



平成19年度 清田地区町内会連合会役員名簿

役 職 名	氏 名	所属町内会	備 考
顧 問	長 岡 武 夫	清田町内会	
	林 茂	清田町内会	
	紙 栄 吉	東真栄町内会	
会 長	牧 野 晃	真栄第四町内会	
副 会 長	竹 田 輝 夫	真栄第一町内会	総務部長 兼任
	田 崎 克 典	真栄第三町内会	真栄第三町内会会長 財務部長 兼任
	清 野 廣 一	真栄団地町内会	真栄団地町内会会長 福まち運営委員長 兼任
監 事	畠 山 昇	新平岡町内会	
	土 田 輝 一	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
総 務 部 長	竹 田 輝 夫	真栄第一町内会	
財 務 部 長	田 崎 克 典	真栄第三町内会	
福 祉 厚 生 部 長	大 滝 正	清田町内会	民児協副会長
保 健 衛 生 部 長	武 田 哲 夫	真栄第一町内会	
防 災 ・ 防 犯 部 長	横 江 光 良	清田有楽町内会	
交 通 安 全 対 策 部 長	林 義 隆	真栄第四町内会	清田地区交通安全指導委 員会支部長
青 少 年 育 成 部 長	林 憲	清田町内会	清田地区青少年育成委員 会会長
女 性 部 長	河 邑 俊 子	清田有楽町内会	
体 育 部 長	住 吉 誠 一	真栄第一町内会	清田体育振興会会長
広 報 部 長	小 山 田 義 信	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
理 事	林 正 明	清田町内会	清田町内会会長
	松 原 宏 悦	清田有楽町内会	清田有楽町内会会長
	野 村 正 巳	新平岡町内会	新平岡町内会会長
	藤 本 石 雄	真栄第一町内会	真栄第一町内会会長
	氏 家 正	真栄第二町内会	真栄第二町内会会長
	角 田 順 三	真栄第四町内会	真栄第四町内会会長
	大 前 弘	東真栄町内会	東真栄町内会会長
	遠 藤 常 夫	美しが丘町内会	美しが丘町内会会長
	川 瀬 栄 一	有明町内会	有明町内会会長

編 集 後 記

今年度は新任、留任合わせて九人の部員でスタートする事になりました。「概念にとらわれず読んでもらえる小冊」に取り組んで行きたいと思っております。

十九年度の広報部員です。(五十首順)

小山田義信(真栄団地)
池田 敏夫(真栄第一)
小森 明(清田)
清水 芳洞(真栄第三)
相馬 義弘(新平岡)
寺田ちづる(真栄第四)
長屋 俊一(真栄第二)
松原 宏悦(清田有楽)
宮下 隆敏(東 真栄)

読まれた後の感想や意見がありましたら遠慮なくお寄せ下さい。

募集 皆さんからの 投稿記事を 募集します!!

◆題材は
嬉しかった事、残念だった事、役に
立った事、我家の自慢、など身近な
話題がありましたら応募して下さい。
テーマは問いません。自由です。

◆対象は
清田地区町内会連合会に加入してい
る町内会の皆さん。

◆原稿の作成は
タイトル、本文、町内会と執筆者名、
写真一枚で、全体で原稿用紙四〇〇
字以内に納まる程度で良いです。

◆掲載までの流れは
原稿は必要に応じて広報部で加筆、
修正することもあります。

◆掲載は
原稿は「連合会だより・清流あしり
べつ」の十二月発行に掲載します。

◆原稿は
「連合会だより・清流あしりべつ」
に掲載後は広報部で責任を持って処
理いたします。

◆メ切は
十月末日必着

◆送り先は
〒〇〇四一〇八四一
清田区清田一条二丁目
清田まちづくりセンター内
清田地区町内会連合会 広報部

◆問い合わせ
電話 八八三一七六〇〇

皆さんの紙面づくりへの参加を、待っ
ています。どしどし身近な記事をお寄
せ下さい。